

# 家畜衛生だより

令和8年度第15号(牛)  
令和8年9月発行

南部家畜防疫協議会  
南部家畜防疫獣医師会  
(公社)千葉県畜産協会  
千葉県南部家畜保健衛生所  
〒296-0033 鴨川市八色52  
電話 04(7092)2304  
夜間・休日緊急(転送されます)  
FAX 04(7092)1434

## 管内で牛サルモネラ症の疑い

南部家畜保健衛生所管内の酪農家1農場で、牛サルモネラ症を疑う疾病の発生がありました。

### 【発生状況】

当該農場で9月上旬に複数頭の子牛が下痢を呈し、診療獣医師から当所に病性鑑定依頼がありました。

検査を実施したところ、そのうち1頭からサルモネラ・ティフィムリウム(届出伝染病の原因菌)が分離されました。

現在、同居牛検査、農場内の消毒、農場来訪者への周知・消毒徹底、集乳車等への注意喚起及び消毒徹底等の対策を実施中です。

## 牛サルモネラ症の症状

### ●子牛●

- 元気消失      ○食欲不振～廃絶      ○発熱(40～42℃)
- 下痢(悪臭がある。泥状～水様便。悪化すると血便。)

- \* 症状なく突然死することがある。
- \* 肺炎や関節の腫れが見られることがある。

1カ月齢以下の幼弱牛がもっとも感染しやすく、症状も激しく、死亡率も高い。

### ●成牛●

- 元気消失、食欲不振
- 発熱
- 下痢  
(悪臭がある。泥状～水様便。  
悪化すると血便となり、時に  
偽膜が混じる。)
- 乳量減少
- 死産を起す場合もある。(サルモネラ・ダブリン等)



血便  
(偽膜が混入)



泥状便



水様便

\* 写真は平成21年度の管内発生例。

分娩後がもっとも発症しやすい。症状が悪化すると死亡することがある。

毎日必ず家畜を観察し、おかしいと感じた時はすぐ獣医師や家畜保健衛生所に連絡を！

南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304

FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。

# サルモネラ症の予防対策

## ～サルモネラの外部からの侵入を防ぐ～

サルモネラ症が発生すると、農場内を清浄化させるまでに長ければ数カ月を要し、大変な手間と経済的損害をこうむります。

発生してから抑え込むより、飼養衛生管理基準を遵守し、侵入を防止することがもっとも効果的です。

- 農場に出入りするとき車両・靴底の消毒を行う。
- 牛舎の入口に消毒槽を設置し、牛舎に出入りする際に長靴を消毒する。また消毒の前に長靴は綺麗に洗浄する。



車両・靴底、  
消毒していますか？



踏み込み消毒槽は必ず設置！  
石灰・石灰乳が効果的



消毒は長靴をきれいに  
してから！\*特に靴の裏

- 牛舎専用の長靴・作業着を用意し、日常使う服や靴で牛舎内に入らない。
- サルモネラは牛の口から感染するため、汚れたままの長靴で餌やりをしない。
- 牛舎内の床、飼槽、水槽やカーフハッチ等の定期的な清掃と消毒をし、万一の発生時にも拡大を防ぐ。
- ネズミや野鳥などの野生生物もサルモネラの感染源となるため、野生生物が牛舎内に入り込まないようにする。
- 新たに導入する牛は3週間ほど隔離して飼育し、健康に異常がないことを確認する。
- サルモネラは人へも感染するので、牛舎内作業をした後は手指をよく洗う。

毎日必ず家畜を観察し、おかしいと感じた時はすぐ獣医師や家畜保健衛生所に連絡を！

南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304

FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。